

助成事業実施報告書

団体名 自立援助ホーム 樹の下ホーム

代表者・役職名 氏名 施設職員 河野直美

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

祈願の沖縄旅行

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

厳しい養育環境にあるすべての子ども達に対して安全で安心な環境を提供するとともに、望ましい支援を行い、より良い発達を保証し、子どもの健全育成に寄与する事を目的とし、平成25年2月にNPO法人「結」の設立、子ども達に社会的信頼と自己肯定感を醸成し社会的自立をするために自立援助ホームの運営として同年6月に「樹の下ホーム」の開設に至りました。現在、会員数48名。自立援助ホームの定員は6名です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

虐待を受け入所した子ども達は、学校行事である修学旅行にすら行けなかった子が少なくなく、日常生活を共に過ごし感じる事は経験が乏しいという事です。仲間と共に実際に体験し気持ちを共有する事、心を強く打つような経験をさせてあげたい、それがその後の人生の中で時には心の支えになってくれる大切なものとなると考えています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

修学旅行の定番である沖縄へ2泊3日の旅

1日目:ひめゆり平和祈念資料館、平和祈念堂、平和祈念資料館、第一牧志公設市場、国際通り

2日目:美ら海水族館、万座ビーチ

3日目:首里城公園

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

当初は入所児童、職員全員参加を想定していましたが、1人の児童が仕事の都合がつかず、やむなく児童5名、職員2名での旅行となりました。予定していた島での海水浴が天候不良の為、変更を余儀なくされ楽しみにしていた分、とても残念でした。資料館巡りは個人差はあるものの全体的には真剣に見聞きしている姿が見受けられ、五感を使って学ぶことの大切さを改めて感じました。帰宅してからは、共通に体験した旅の思い出を話すことでより円満なコミュニケーションをとれていたのではないかと思います。沖縄での学び、感じた事を忘れず次世代へつなげていくことが世界の平和への一歩になり、それがやがて社会に与える変化になると考えております。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

自然豊かなそして先の大戦で唯一の地上戦になった沖縄で、その歴史の爪後にじかにふれる機会を頂き、今は自分たちの事で精一杯の彼、彼女たちですが一人でも多くの子に、戦争と言う同じ過ちを繰り返さない為のまたは豊かな自然を守る架け橋となってもらうべく、私たち職員がどのように今回の旅行を踏まえて伝えていけるかが課題であろうかと思えます。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

